

みずほCustomer Desk Report 2016/06/27 号(As of 2016/06/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	公示仲値	第1公示:105.81	第2公示:104.61	第3公示:101.81
	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD		
TKY 9:00AM	104.93	1.1335	118.80	0.9615	1.4561	0.7545
SYD-NY High	106.87	1.1429	122.00	0.9803	1.5022	0.7650
SYD-NY Low	99.00	1.0912	109.30	0.9551	1.3228	0.7305
NY 5:00 PM	102.15	1.1110	113.55	0.9716	1.3700	0.7460
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	14.655/15.9	△25RR	2.900	Yen Call Over		
NY DOW	17,400.75	▲ 610.32	債券市場	日本2年債	-0.2700	▲4.5bp
NASDAQ	4,707.98	▲ 202.06		日本10年債	-0.1700	▲3.0bp
S&P	2,037.41	▲ 75.91		米国2年債	0.6270	▲15.2bp
日経平均	14,952.02	▲ 1286.33		米国5年債	1.0719	▲18.6bp
TOPIX	1,204.48	▲ 94.23		米国10年債	1.5599	▲18.6bp
シカゴ日経先物	15,245	▲1,345.00		独10年債	-0.0470	▲14.0bp
ロンドンFT	6,138.69	▲199.41		英10年債	1.0860	▲28.7bp
DAX	9,557.16	▲699.87		豪10年債	2.0080	▲24.2bp
ハンセン指数	20,259.13	▲609.21	為替市況	USD/CNH	6.6366	0.0507
上海総合	2,854.29	▲ 37.67		ドルインデックス	95.45	1.92
USDJPY 3M Vol	13.67	1.94%	商品市況	CRB指数	188.689	▲4.84
USDJPY 6M Vol	12.66	1.22%		NY金	1,322.400	59.30
EURJPY 3M Vol	15.56	2.46%		WTI	47.640	▲2.47
EURJPY 6M Vol	14.27	1.78%		Dubai Spot	44.83	▲1.69

東京	前日海外時間で英国国民投票に対する楽観的観測からポンド円、ユーロ円につられて上昇したドル円は、ポンド円にEU残留派優勢との速報に反応し高値106.87まで上昇。開票開始直後、一部地域で離脱派圧勝の報道が伝わるとポンドドルが1.48台半ばから1.43割れまで急落。同時にドル円もストップスを巻き込みながら103.01まで急落したもの、その時点ではごく一部地域の開票のみであったことからすぐに買い戻され104.93レベルで東京オープン。仲値にかけてはみなし5・10日の買いが優勢となり105.80レベルまで急反発するも、僅かながら離脱派優勢の状態にドル円は売り返され、再び103円台半ばまで反落。流動性の薄いなか、103-104円台で一進一退後、離脱派が票を伸ばす展開にポンドドルの下落が顕著となると103円ちょうどを下抜け。売りが売りを呼び心理的節目の100円も割れ、99.00ちょうどまで急落。100円アンダーでは利益確定の買いが入り一時102円台まで急反発し、非常に荒い値動きとなったが、開票が終盤にさしかかり離脱がほぼ確定的となると、ややsell the factの動きが強まりポンドドルが安値1.3228をつけ反転する動きにドル円も102.35レベルまで値を戻してクロスした。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は横ばい、ドル円は102.35レベルでオープン後、キャメロン首相の辞意表明、英中銀による2,500億ポンドの追加供給などのEU離脱決定に対する各種政策対応に買いで反応したことや、東京時間から終盤からのsell the factの買いが継続したこととポンド円が小幅ながら上昇。しかし、ポンドの流動性などに対する不透明感を要因に上値は重く、102.37レベルでNYに渡った。ユーロドルは上昇、1.1015レベルでオープン後、ドル円同様ポンド主導の値動きに終始、1.1050レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は102.37レベルでオープン。朝方は米5月耐久財受注が予想を下回ったものの、英国のEU離脱のショックを消化する中、市場の反応は殆ど無く、タウが大幅安で寄り付いたことから円買いが優勢となり、102.05まで下落する。続いて発表の6月ミシガン大学消費者信頼感指数が現況、先行きの見通しが共に速報値から下方修正されたが、ドル円の反応は限定的となり、102.20付近での推移が続く。午後は流動性が一段と低下する中、狭いレンジでの推移が続く。102.15レベルでクロスした。一方、英国のEU離脱を受け、この動きがEU加盟国内に広がるとの懸念は強く、1.0912まで下落したユーロドルは、利益確定の買い戻しに1.1190まで戻すものの、世界的に株式市場が暴落し、ユーロ円が大幅に下落する動きに、ユーロドルも上値は重く、1.1050レベルでNYオープン。朝方はショートカバーから徐々に下値を切り上げ、1.1180まで戻すものの、今後EU内で追追する動きも警戒され、週末のスペイン選挙に対する不安もあり、じり安で推移し、1.1110レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:島田・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月24日	-	英 EU離脱の是非を問う、国民投票結果発表	-	-
	08:00	米 カブラン・ダラス連銀総裁講演	-	-
	08:50	日 日銀金融政策決定会合「主な意見」公表	-	-
	15:36	日 中曽日銀副総裁講演	-	-
	17:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	6月	108.7/114.5/103.1 107.4/114.0/101.2
	21:30	米 耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)	5月	-2.2%/-0.3% -0.5%/0.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	6月	93.5 94.1

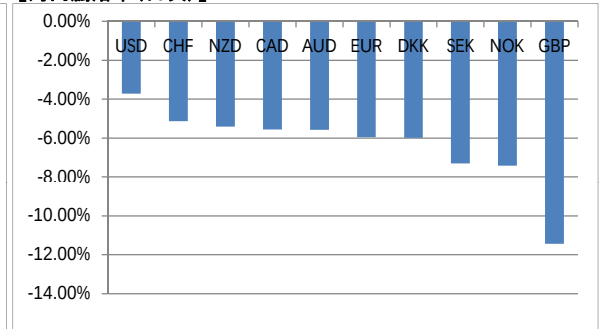
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月27日	22:45	米 サービス業PMI/総合PMI・速報値	6月	51.9/- 51.3/50.9
	-	米 ダラス連銀製造業活動	6月	-15.0 -20.80%
	-	欧 世界経済フォーラム・夏季ダバース会議-28日	-	- -
6月28日	02:30	欧 ECBフォーラム(シントラ) イエレンFRB議長・ドラギ	-	- -
	02:30	中 ECB総裁・カーニーBOE総裁、講演	-	- -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.50-103.00	1.0950-1.1150	111.00-114.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜海外市場のドル/円相場は英国国民投票におけるEU離脱派勝利との結果を消化した後の小康状態の中で揉み合い推移となった。東京時間には事前予想と異なるEU離脱派優勢との報道が順次なされる中で急落を演じたドル/円相場であったが、結果判明後にはSell the Factsの買戻しも相俟って水準をある程度戻し、海外時間には新たな材料に乏しい中で揉み合い推移となった。本日のドル/円相場は上値重い展開を予想する。英国のEU離脱は市場のリスクセンチメント悪化という経路にて上値を押さえる材料として作用し続けだろう。一方で、英国経済および世界経済への影響が定量的にどの程度になるかとの予想には英国・EU間の新たな経済関係案構築を待つ必要がある点や、為替変動が大きくなる局面においては協調を含めた為替介入の可能性が存在していることから、相場が急落する展開は実現し難いと予想する。